

第30回 細胞制御セミナー

演題：がん抑制遺伝子による発がん制御

講師：前濱 朝彦 先生

昭和医科大学医学部生化学講座 教授

日時：2026年3月24日（火）17:00～18:00

場所：長崎大学薬学部 第2講義室

要旨：がんの発症進展には様々ながん抑制遺伝子が関わるが、その中でもp53やPTENは特に高い頻度で変異が見つかる重要ながん抑制遺伝子である。さらに近年では多くのがんで活性化が見つかる転写共役因子YAP/TAZを抑制するHippo経路が新たながん抑制経路として注目されている。

本セミナーではこれらのがん抑制遺伝子による発がん制御について基本的な仕組みから最新の知見まで幅広く紹介する。

参考文献：

Maehama T et al, Nucleolar stress: Molecular mechanisms and related human diseases.
Cancer Sci 114: 2078-2086 (2023)

Maehama T et al, The role of Hippo-YAP signaling in squamous cell carcinomas.
Cancer Sci 112: 51-60 (2021)

Lee YR et al, The functions and regulation of the PTEN tumour suppressor: new modes and prospects.
Nat Rev Mol Cell Biol 19: 547-562 (2018)

【共催】 長崎大学薬学部 下村脩博士ノーベル化学賞顕彰記念創薬研究教育センター
長崎大学先端創薬イノベーションセンター

問合せ：長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科
生命薬科学専攻 細胞制御学分野
武田 弘資
TEL: 095-819-2417
E-mail: takeda-k@nagasaki-u.ac.jp